

科目（講座名）		生物演習	2 単位	自由選択
教科書	改訂版 生物・生物基礎 （数研出版）		担当教諭	
副教材	スクエア最新図説生物 neo（第一学習社） リードα 生物基礎＋生物（数研出版）			

学習の目標

生物の各分野の学習項目について、知識の定着と理解の習熟を図り、入試問題に対応した学力の習得を目指す。

授業内容

①細胞と分子 ②代謝 ③遺伝情報 ④生殖・発生 ⑤動物の反応 ⑥植物の反応 ⑦生態系
⑧進化・系統について理解を深め、単元を横断した総合的な力を養う。

学習方法

教科書・副教材・プリントを用いた基本事項の確認と問題演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的に学習する態度を見に付けているか。
科学的な 見方・考え方	生物や生命現象に見られる事象を実証的、論理的に捉えたり、分析的、総合的に考察したり、科学的に考えることができるか。
表現・処理	実験・観察の技能を習得するとともに、その過程や結果、およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現できるか。
知識・理解	生物や生命現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

評価方法

定期考査における学習の到達度・理解度に加え、小テストや課題への取り組みにおける学習態度・意欲等を総合して評価を行う。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	具体的な指導目標
1	4 5 6 7	1 1 6 1 0	生物基礎 4 章 生物の多様性 と生態系 5 章 生態系とその 保全	1 節 植生とその成り立ち 2 節 植生の遷移 3 節 気候とバイオーム 1 節 生態系とその保全 2 節 物質循環とエネルギーの流れ 3 節 生態系のバランスと保全	1～2 植生とその環境、植生の遷移について理解する。 3 気候とバイオームの関係、世界のバイオーム、日本のバイオームについて理解する。 1 生態系でのエネルギーの流れと物質の循環、生態系のバランスと保全について理解する。 2 物質循環とエネルギーの移動について理解する。 3 生態系は変動しながらもそのバランスを保っていることを理解する。
2	9 10 11 12	1 2 6 6 3	生物 4 編 生物の環境応答 5 編 生態と環境 6 編 生物の進化と系統 学習のまとめ	3 章 発生のおくみ 4 章 植物の発生 1 章 動物の反応 2 章 動物の行動 3 章 植物の環境応答 1-2 章 個体群と生物群集 3 章 生態系の物質生産 4 章 生態系と生物多様性 1 章 生命の起源と生物の変遷 2 章 進化のおくみ 3 章 生物の系統 問題演習	3 母性因子と体軸決定、誘導と分化のおくみ、調節遺伝子と形態形成、4 被子植物の生殖と胚発生について理解する。 1 ニューロン、興奮の伝導と伝達、受容器、効果器の反応、中枢神経系のはたらき、2 動物の行動、3 植物ホルモン、種子発芽・栄養成長・花芽形成・落葉落果の調節と環境応答について理解する。 1・2 個体群、個体群内の相互作用、個体群間の相互作用、生物群集と共存、3 物質生産、エネルギーの流れ、4 生物多様性について理解する。 1 生命の起源、生物の変遷と地質時代、人類の進化、2 変異、遺伝子頻度、自然選択、遺伝的浮動、隔離、分子進化、3 生物の系統と分類について理解する。 【実験】ブタの脳と眼球の解剖
3	1 2 3	1 6	学習のまとめ	問題演習	